

本とあそぼう Vol. 59  
こどもんと

2006年 2月  
宇佐市民図書館  
〒 879-0453  
宇佐市大字上田1017-1  
Tel.0978-33-4600  
Fax.0978-33-4679

シッポのちぎれたメダカ

やなせ たかし

まだとてもちいさいとき  
はじめてぼくが愛したのは  
シッポのちぎれたメダカだった  
牛乳びんの中で飼っていた  
シッポのちぎれたかわいいメダカ  
とてもおかしい顔をしていた  
ぼくをみるとうれしそうに  
ちぎれたシッポをふっていたんだ  
でもある雨のふる朝に  
メダカはだまって死んでしまった



ぼくはひどくかなしかった  
涙がこぼれてとまらなかった  
おとなはみんなおおわらわらした  
「メダカはいっぱいおよいでいる  
かわりのメダカはすぐに見つかる」  
泣きじゃくりながらぼくはおもった  
「かわりのメダカはいないんだ  
シッポのちぎれたおかしい顔の  
あのメダカでなくちゃいけないんだ  
どんなにたくさんメダカがいても  
ぼくの愛したのは一匹しかない」







どくだんとへんけんによっているかもしれない

# 今月の一冊

森のお医者さん 1  
『子ネコはかんばんさん』

竹田津 実 作  
国土社 発行



森の獣医さんの家にやってきたヒマラヤンの子ネコ達。  
この家にはシカにキツネ、クロテン、リス……。いろん  
な動物がいて、いろいろな匂いがします(大分県出身の獣医  
さん。そのせいか市内酒造メーカーの酒瓶の姿も)。

小さい動物に手がでることもありましたが、そのうち  
子ネコ達は助手をしてくれるようになりました。

ゲガをして入院する動物のうち、自然に帰れる動物は  
3分の1くらいだとか。写真もたくさんあります。